

会 議 録

会 議 名	平成 29 年度 嵐山町総合戦略検証委員会					
開 催 日 時	平成 2 9 年 7 月 2 0 日（木）	開 会	1 3 時 5 6 分			
		閉 会	1 5 時 4 0 分			
開 催 場 所	嵐山町役場 町民ホール					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 会議録の署名人の任命について (2) 嵐山町総合戦略の検証について (3) 嵐山町総合戦略の改訂について (4) その他 4 閉 会					
公開・非公開の別	公開	傍聴者数	1 人			
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	内田 方巳	出	委 員	池原 賢二	出
	副会長	新井 茂	出	委 員	安岡 良浩	出
	委 員	伊藤 武雄	出	委 員	鹿倉 貞二	欠
	委 員	大塚 基氏	出	委 員	荒井 忠正	出
	委 員	松本 勉	欠	委 員	藤原 友美	欠
	委 員	内田 奈芳美	欠	委 員	青木 裕子	出
	委 員	山田 朋美	出	委 員	宮本 紀子	出
	委 員	松村 克彦	出	委 員	田中 操	出
事 務 局	地域支援課長 青木 務					
	地域支援課副課長 伊藤 恵一郎					
	地域支援課主査 松浦 一高					

次 第	顛 末 (要点筆記)
1 開 会	青木地域支援課長 ・委員の変更について報告があった。
2 あいさつ	(内田会長) ・最近雨が降っていないため溜池に水が無く、田んぼの水が不足している状況となっています。 ・農業については国の制度が変わりつつありますが、本計画においても嵐山町の農業は田畑を守る大切な産業であると位置づけられており、様々な農業施策が進められております。 ・本日は、5カ年の計画である嵐山町総合戦略について検証を行い、町を発展させていけるようご意見をいただききたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。
3 議 題	(1) 会議録の署名人の任命について ・山田朋美委員と松村克彦委員を議事録署名人として決定した。 (2) 嵐山町総合戦略の検証について ・事務局より資料1、資料2について説明を行った。 (内田会長) ・何かご意見がありますか。 (松村委員) ・入れ込み観光客数の内訳ですが、約25%は嵐山溪谷バーベキュー場に来ています。残りの75%の方はどこに来ているか把握していますか。 (事務局) ・観光客数を集計している観光地点は、嵐山溪谷バーベキュー場の他にゴルフ場、温泉施設、嵐山まつり、蝶の里公園、杉山城跡、金泉寺などとなっています。 (松村委員) ・外国人来客者数は把握されていますか。 (事務局) ・外国人来客者数については数字がありませんので、どの程度の人数がきているかを把握することはできていません。 (松村委員) ・2019年にはラグビーワールドカップが熊谷市で開催されます。インバウンドで外国人観光客を取り込む施策が必要だと思います。外国人は、日本に対してキャッシュしか使えないというイメージを持っています。外国人はクレジットカードの利用者が多くいますが、嵐

山町ではクレジットカードやデビットカードなどのカード使用可能店舗の割合が低い状況です。平成29年第1四半期の訪日観光客による消費額は約1兆円あったという報道がありました。ラグビーワールドカップが開催される2年後を見据え、カード使用可能店舗の数値目標を設定したほうがよろしいのではないのでしょうか。

(田中委員)

- ・ むさし嵐丸グッズの売上げについてお聞きします。売上高について記載がありますが、黒字になっているのでしょうか。

(事務局)

- ・ グッズはある程度の数量を発注して、ストックしているものを販売していると思いますので、収支を判断することは難しいと思っています。

(田中委員)

- ・ 嵐丸グッズを購入している人は一部の人に偏っていると聞いており、むさし嵐丸の知名度は広まっていないように感じます。ゆるキャラグランプリについても全体のエントリー数は減少しつつあり、順位が上がっているのは当然のように思います。今までどおりの運用ではなく、活用についてももう少し考えたほうが良いのではないのでしょうか。

(大塚委員)

- ・ 農村地域は農家の減少が深刻です。遊休農地を増やさないよう農家は頑張っていますが、農家の減少に対して嵐山町としてどのような取組を考えているのでしょうか。

(事務局)

- ・ 農業の担い手不足については、平成29年5月より嵐山町農業担い手育成嵐丸塾を開設し、新規就農者の獲得を目指しています。また、昨年度は新規就農者が1名増えました。しかしながら、谷津などの耕作放棄地の解消や溜池の浚渫などの問題は引き続き課題となっており、土地改良組合の高齢化についても、負担金の支払いが難しい状況となってきています。町としては、ほうれん草の栽培や、嵐山産小麦を使用したうどんや嵐丸焼きの製造などの6次産業化を行い、農業で儲かる仕組み作りに取り組んでいきたいと考えています。

(大塚委員)

- ・ 農業に携わる人達は、農業に関する課題に一生懸命取り組んでもらっていますが、雇用を作る産業として農業を育てていくという内容が計画から伝わってこないように感じます。

(内田会長)

- ・ それぞれの農業部門では新しい取組についての提案は出てきますが、実行力が伴っていないように感じます。農業分野に限ったこと

ではありませんが、部門ごとに考えてはいるのですが、課題を共有することができず、総合的な話し合いができていないような気がします。

- ・ 農産物直売所の売上高は上がっていますが、ほとんどの農家は収入が100万円を下回っていると思っています。農家の方はそれでは生活ができないので、本気で農業を行わず、作って余ったものを売ることが定着しているように思えます。もっと本気になって嵐山町が都市部に農作物を提供する場所にならないといけないと思います。
- ・ めんこ61事業についても、お金をかけた割には決まった数量を作って、売り切ったらお仕舞いという販売を行っており、開店から1時間経つと売り切れになってしまいます。すぐに売り切れているのですから、より多く販売して採算が上がるように販売方法を工夫してもらえればと思います。

(宮本委員)

- ・ 町おこしディレクターは、農業をしない人ならではの視点から、農業に携わる人と協力して、どうしたら農業を取り込んだ地域起こしができるかPRを含めて考えてもらいたいと思います。
- ・ 入れ込み観光客数に国立女性教育会館の来館者数は入っていないのでしょうか。

(事務局)

- ・ 町おこしディレクターの活動ですが、平成28年度は本年1月からの採用であったため、イベント等の企画が主な活動でした。平成29年度は都心から来た方に対して、私たちが日常としている農がある生活を非日常として体験してもらおうといった活動を行おうとしています。都内の方は普段行わない農作業や農機具に触れる体験が新鮮に感じるようです。今後、町内外にそのような町の魅力を発信していく活動を進めていく予定です。
- ・ 入れ込み観光客数についてですが、観光としての集客数には計上していないようです。

(宮本委員)

- ・ 国立女性教育会館は施設利用方針が変更され、夏休みの合宿や、新人研修、セミナーなど、一般の利用が進められていて活気があります。観光としての利用も可能なので、集客施設として入れ込み観光客数に計上してもよろしいのではないのでしょうか。
- ・ 国立女性教育会館に嵐山町の紹介コーナーのようなものを設置してもらい、町のPRなどを行ってはいかがでしょうか。国立女性教育会館の売店には嵐山町の品物はありませんので、地元で作られた物を置いてもらえれば売上げが上がると思います。

(事務局)

- ・ 入れ込み観光客数の集計箇所への追加や、国立女性教育会館でのグッズの販売については担当課に話をしたいと思います。

(内田会長)

- ・ 整備予定の地域活力創出拠点には、地元特産品の紹介や品揃えを充実させる予定となっています。
- ・ 町おこしディレクターの活動は始まったばかりですが、積極的なPR活動に取り組んでいます。今後成果が現れてくるのではないかと期待しています。

(宮本委員)

- ・ のらぼう菜の栽培を始めたときには、特産品としての広がり期待していましたが、その後の伸びがなく残念です。のらぼう菜はアクもなく、栄養価が高いため大学病院の食事などでもメニューに載っています。嵐山産ブランドとして、のらぼう菜の価値を高める方策を行っていただければと思います。

(伊藤委員)

- ・ 農地を貸している農家では、借りていた方が高齢になり、若い人は農業をやらないので、農地がどんどん返ってきているという状況になっています。
- ・ 耕作放棄地を作らないためにも、都内から農作業を行いたい人に来ていただき、畑を活用していただきたいと思います。そのためには、農機具の貸し出しや、泥をきれいに洗い流したり、宿泊ができたりするような施設を作る必要があるのではないのでしょうか。地元だけでは農地を維持することが難しくなっています。

(青木委員)

- ・ 以前の会議でも、若い人を呼び込み、耕作放棄地の活用を図るといような同様のご意見がありました。また課題となっている空き家の問題とも一緒に考えて、総合的で息の長い計画を進めてもらえればと思います。

(事務局)

- ・ 新規就農者につきましては、嵐山町農業担い手育成嵐丸塾を立ち上げ、古里地内でほうれん草農家をされている方から技術を学んで、生活できるレベルまで支援するということを行っていきます。
- ・ また、平成28年度には大阪府出身の方が志賀地内に定住し、自然農法の農業を行っています。今後につきましても空き家バンク制度等を活用して耕作放棄地の解消に努めてまいりたいと思います。
- ・ しかしながら空き家の活用については他の自治体でも同様ですが、通常の中古住宅のような物件はありますが、希望者が求めているような昔ながらの古民家は、空き家としては出てこないという課題が

ある状況です。

(青木委員)

- ・ 福島県から古里地内に移住してきた方が、ほうれん草を栽培して成功していると聞いています。町おこしディレクターには、そのような農家の方と協力して、他の農家の方の生活が成り立つような、地に足がついたプロジェクトを行っていただきたいと思います。

(内田会長)

- ・ 農協に出荷する場合、農作物を生産しても売れないと引き取らないとなりません。大量に生産する方は市場にまとめて出荷したほうが、単価が低くても買い取ってもらえるので、有利ということがあります。
- ・ 多くの農家の方は、商売ベースで農業を行うというノウハウがないので、そのような仕組みを取り入れる必要があると考えます。

(大塚委員)

- ・ 農家は自分の田んぼや畑の草刈をするだけでなく、その周辺の道路などの草刈りも行っており、環境の維持管理に協力をしています。農家を大切にしなければ、草だらけになってしまう場所が沢山あります。

(荒井委員)

- ・ そのためには共助の精神を持って、経済活動も交えた仕組みを考える必要があります。
- ・ また先ほど訪日観光客についてのお話がありましたが、町を発展させるために、宿泊も可能な国立女性教育会館をもっと有効利用していただければと思います。

(宮本委員)

- ・ 農業、商業、観光がそれぞれ関わりながら嵐山町をコーディネートする地元の体制も必要です。
- ・ 国立女性教育会館などの嵐山町の資源や受け入れる地元の人がコラボレーションして、お金が入ってくるような展望が必要だと思われます。

(山田委員)

- ・ 農業、教育、保育など町の現状を維持していく上で、数多くの課題に対応するという内向きの目も大切です。また、来客数の増加、知名度向上、空き家の利用など、外向きの目も必要です。
- ・ 金泉寺にはアジサイの咲く時期に多くの方が来られるので、杉山城跡のパンフレットを置いておくなどの横の連携を考えることも必要かと思えます。
- ・ 道筋が沢山ありすぎて、全てを行おうとするとバラバラになってしまう気がします。もう少しポイントを絞って課題解決を行っていか

ないと、10年経っても状況は変わらないということになりかねません。

- ・ポイントを絞って一步步前進させ、検証して分析を行い、次の一步を絞って進めないと、上滑りなことになってしまうと思います。

(内田会長)

- ・今後の課題として検討して頂きたいと思います。その他ご意見等ありますか。

—意見等なし—

(2) 嵐山町総合戦略の検証について

- ・事務局より資料3について説明を行った。

(内田会長)

- ・何かご意見がありますか。

(荒井委員)

- ・人口の問題についてですが、嵐山町、川島町、吉見町を比較すると、世帯数は7千世帯ほどですが、人口は川島町、吉見町が約2万人に対し、嵐山町は1万8千人ほどとなっています。
- ・年を取っても元気がある町であるということをしてPRすれば転入が増えるのではないのでしょうか。
- ・また、現在町が力を入れている教育の町ということが広まれば、嵐山町に転校してくる子どもたちも多くいると思われれます。

(大塚委員)

- ・千年の苑事業についてですが、地方創生推進交付金が終了した後の展望はどのようなになっているのでしょうか。

(事務局)

- ・地方創生推進交付金は平成29年度から平成31年度までの3年間で2分の1の補助率となっています。3年間で来客者数の増加を図り、駐車場や入場料収入、物産の売上等により、自立して運営できるよう考えています。

(池原委員)

- ・数値目標の来場者数100,000人は平成33年度までの累計の人数と考えてよろしいのでしょうか。

(事務局)

- ・平成33年度までの累計人数です。

(宮本委員)

- ・資料1の検証結果の、企業誘致条例等による立地企業について詳しく教えてください。

(事務局)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関越自動車道嵐山パーキングエリア上り線の裏側に、平成 28 年よりドラックストアの物流センターがオープンしました。 ・ 企業誘致については、鎌形地区、インターチェンジランプ内への企業立地が課題となっています。また、企業支援課内に企業誘致担当を設置し、川島地区や花見台工業団地の拡充を図るため協議を進めています。 <p>(内田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他ご意見等ありますか。 <p>—意見等なし—</p> <p>(4) その他 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議終了後につきましても、ご意見等がありましたら事務局までいただければと思います。
4 閉会	青木事務局長
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>平成 29 年 8 月 25 日 署名委員 <u>山田 朋美</u></p> <p>平成 29 年 8 月 23 日 署名委員 <u>松村 克彦</u></p>	